



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2625回例会

2020.10.20(火) 於 サンバレー富士見

2020-21

RI 会長 柿が-・ケケ ガバナー 志田 洪顯
会 長 土屋 雄三 幹 事 土田 哲
会報委員会 兵藤 弘昭・木内 昭夫 望月 隆一

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F
TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352
例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

写真： 柿田川（伊豆半島ジオパーク）

会長挨拶

会長 土屋雄三



先週、志田ガバナーと常戸地区幹事の公式訪問がありました。今年に入って、コロナによる感染拡大の影響と個々の危機管理の度合いの相違による人と人とのコミュニケーションの欠如、また、意思の疎通不足等によってガバナーが変わった経緯の説明をしてくれました。誰しもが、経験したことがない状況下での地区運営、当事者であります静岡 RC のご苦勞、コロナ禍の中、大変厳しい7月、8月を過ごされたのかと思いました。そのような状況下でも、当クラブは、できるだけ配慮をしながら、

淡々と目の前のことをこなしていきたいと思えます。引き続きご協力お願い致します。

今回そのコロナですが、中国から端を発した新型ウイルスがこれほどまでに猛威を振るい、全世界に拡大していった背景は、20年前でしたら中国の田舎の一都市の風土病に過ぎなかったかも知れません。この20年間の間「世界の製造工場」になって全世界が、中国に依存してきたことと関連があると言われていました。そして、ウイルスの脅威は、現代社会において中国が世界に与える影響力の大きさを示し、国を挙げて推進してきた一帯一路政策も感染に拍車をかけてきた事を明確にしたと思えます。人類は歴史を見ても幾度となくウイルスによって生命の危機に直面してきました。紀元前5世紀の古代ギリシャ時代から、今でいう天然痘でないかと言われていたようですが、その後、ローマ帝国で発生したペストなどその後、消えてはまた発生を繰り返してきたようです。中国においても、明の時代には天然痘が流行し、その後、清の時代にはコレラが大流行しました。また、100年前、世界はスペイン風邪に席卷され感染者は5~6億人で死者は2,000万人~5,000万とも言われています。日本に移ってきたのは5か月過ぎた頃のように、日本の人口5,600万人中、感染者が約2,300万人、死者は38万人~50万人とも言われています。これら感染症のウイルスは人の体に忍び込みますが、同時に心に忍び込もうとするウイルスがあると言われていました。いまだ感染が続いており、長期化は困難に耐え、努力する心を蝕む一面も表面化してきました。

生活様式の変化、収入減少、感染リスクへの不安感、ストレスなどに対しての、心の免疫力を高めなければならないと思えます。何よりの特効薬はよき言葉、良き教養に触れることだと言われていました。122歳まで生きた、ジャンヌ・カルマンは長生きの秘訣は「笑うこと、退屈しないこと」と言っています。心身のウイルスに打ち勝ってきた人は、笑うこと、感謝する事、感動することが心の免疫力を高める要素になると思えます。長期戦になりつつあるコロナとの共存は百折不撓の精神をもって心の免疫力を高めコロナ不況、新しい生活様式に対応して頑張っていきましょう。

*ジャンヌ・カルマン=人類史上最も長生きをしたとされるフランス人女性

	出席総数	出席率	会員総数
今回	21/26名	84.00%	26名

奥様誕生日 望月 隆一様
晃子様 10月24日

今回の欠席者 木内 昭夫 古藤田 博澄
紀平 幸一 山田 茂樹



卓話

雨宮演邦パスト会長



玉置敏会員



スマイル報告

●土屋雄三会長 土田哲幹事

玉置さん、雨宮さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

●雨宮演邦パスト会長

今日は卓話をさせていただきます。皆さんつまらない話ですので歯を食いしばって我慢して聞いてください。

●竹村淳一郎会員

小野先生、先日はありがとうございました。

●山口和弘会員

伊豆がもっともっと魅力ある半島になるといいですね。

(本日のスマイル合計 ¥8,000)

